

2019年10月3日

C to C による中古車売買市場に参入

～オートボックスが中古車の個人間売買をサポートします～

株式会社オートボックスセブン（代表取締役 社長執行役員：小林喜夫氏）は、今後活性化が見込まれる中古車売買のC to C（個人間取引）市場において、2020年4月よりプラットフォーム（基盤を提供する事業者）として本格参入することを目指します。

ここがポイント！

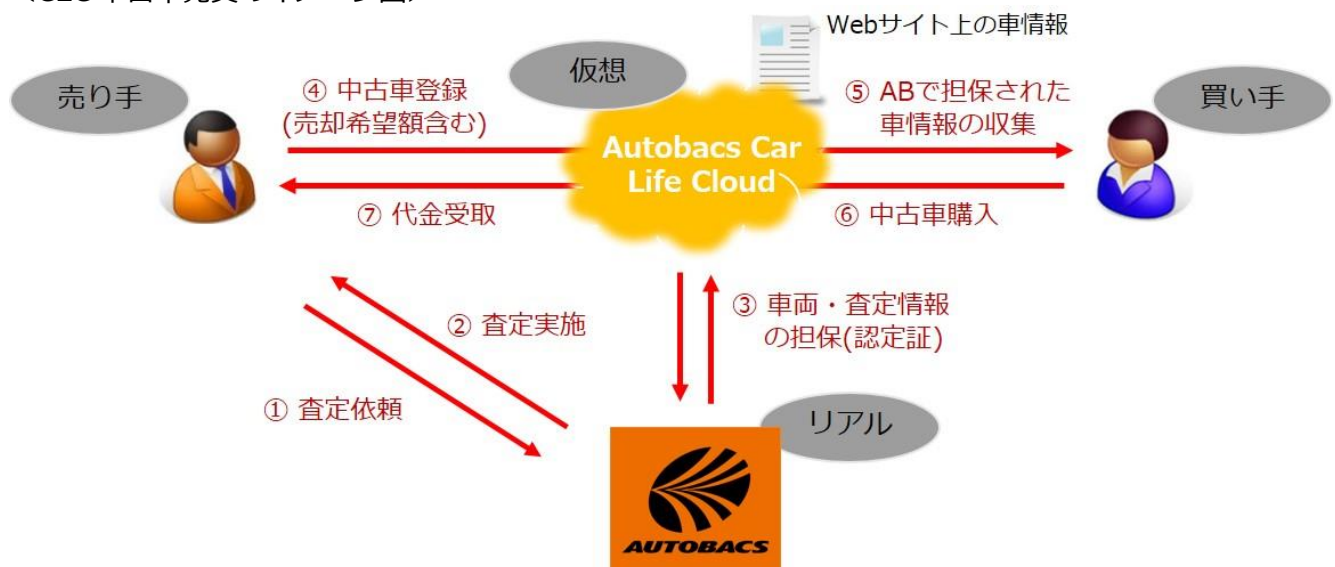
- C to C による中古車売買市場に参入します。
- ブロックチェーン技術を活用した基盤（プラットフォーム）を構築します。
- 2020年4月の本格稼働を目指します。

一般的な中古車売買の構造は、車両を売りたい人が買取業者や中古車販売業者などに売却し、業者間オークションなどを経て、買いたい人の手に渡ります。このように売りたい人と買いたい人の間には、いくつもの業者が介在するため、中間コスト（各社のマージン）が大きくなり、売り手が売却した金額と買い手が購入した金額には大きな乖離があります。

C to C（Customer to Customer：個人間取引）とは、消費者同士が契約や決済を行い、モノやサービスを売買することで、中古車市場においても、業者などが介在せずに中間コストの削減が期待されます。さらに、個人間取引の場合は原則として消費税が不要となるために、売り手は高く、買い手は安く売買することができます。一方、車両そのものに対する安全性や信頼性には不安が残ります。

このような市場環境において、当社は、特許を取得したオートボックスの車買取査定システム『査定 Dr.』を活用し、売買する車の査定を行うことで車両の安全性や信頼性を担保し、安心して中古車売買を行うことができるプラットフォームを構築し、中古車の個人間売買をサポートします。

<C2C 中古車売買のイメージ図>



(次ページに続きます。)

また、このプラットフォームにはブロックチェーン（分散台帳）技術を活用し、車両の売買情報や査定情報に加えて、取引後の走行状況などを更新することで、車両の正確な価値を継続的に担保することが可能となります。

ブロックチェーンとは？

ブロックチェーンとは、“サトシ・ナカモト”が開発したビットコインの仕組みの根幹として登場した革新的なテクノロジーです。

分散型の P2P（Peer to Peer）ネットワークで構成されているため管理者不在であり、中央集権的な機能を置かずに信憑性のある取引が成立します。また、ブロックチェーンの優れた点として、「コンピューターネットワークの 1 つが停止したとしても、他のコンピューターが稼働する限りシステムが止まらないため、ゼロダウンタイムを実現できる」、「安価なコンピューターで稼働でき、バックアップや冗長化も必要なく、キャパシティを超えて情報が処理されることから、劇的なコスト削減につながる」、「電子署名の仕組みにより、改ざん不可能な取引記録を構築できる」といった事項があげられます。

なお、ブロックチェーン技術を活用した C to C プラットフォームおよび中古車売買サービスの開発は、ブロックチェーン技術のビジネス活用において多くの実績をもつ日本アイ・ビー・エム株式会社の協力のもと進めていく 予定です。本サービスは、2020 年 4 月の本格稼働を目指しています。サービスの概要については、詳細が決まり次第ご案内します。

今後も「常にお客様に最適なカーライフを提案し、豊かで健全な車社会の創造を使命とする」という当グループの経営理念に基づき、新たなライフスタイルを提供してまいります。

以上

この件に関するお問い合わせ

【お客様からのお問い合わせ】

オートバックスお客様相談センターフリーコール：0120-454-771
受付時間：平日 9:00～12:00 13:00～17:30

【報道関係者からのお問い合わせ】

株式会社 オートバックスセブン IR・広報部 鈴木、前川、石井
〒135-8717 東京都江東区豊洲 5-6-52 NBF 豊洲チャンネルフロント
TEL. 03-6219-8787 FAX. 03-6219-8762